

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	小児急性虫垂炎における非手術的治療（NOM）の成否因子と待機的虫垂切除術（IA）の手術難易度に関する検討～臨床経過と画像・病理所見の関連から～（B25-138）
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科学 助教 上松 由昌
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	本研究は北里大学病院単施設で行う研究であり、他の研究機関はありません。
本研究の概要・背景・目的	<p>急性虫垂炎はこどもに多い急性腹症のひとつで、これまでは手術による虫垂切除が一般的な治療でした。しかし近年、抗菌薬による非手術的治療（Non-Operative Management：NOM）を選択するケースも増えており、その後待機的虫垂切除術（Interval Appendectomy：IA）を行うこともあります。一方で、どのような場合にNOMがうまくいきやすいか、どのような場合にNOMがうまくいかず手術が必要になるのか、NOMのあとに行うIA手術が難しくなる条件は何か、といった点について、はっきりとした基準はまだ十分に分かっていません。そこで本研究では、当院で急性虫垂炎と診断され治療を受けた患者さんの診療情報を振り返って調査し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOMが成功しやすい条件や、再発・手術移行に関わる因子 ・NOM後に行うIA手術の難しさ（手術時間、開腹移行、合併症など）に関わる因子を明らかにすることを目的としています。これにより、今後の治療選択や手術のリスク評価に役立てることを目指しています。
調査データ 該当期間	2004年1月1日から2025年12月15日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2004年1月1日から2025年11月30日の間に、北里大学病院小児外科を受診し「急性虫垂炎」と診断され、何らかの治療（手術または抗菌薬などによる治療）を受けられた患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2004年1月1日から2025年11月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科学の研究費を使用します。研究に関する利益相反については、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科学 助教 担当者：上松 由昌 (ウエマツ ヨシマサ) 電 話：042-778-8111</p>
<p>備 考</p>	